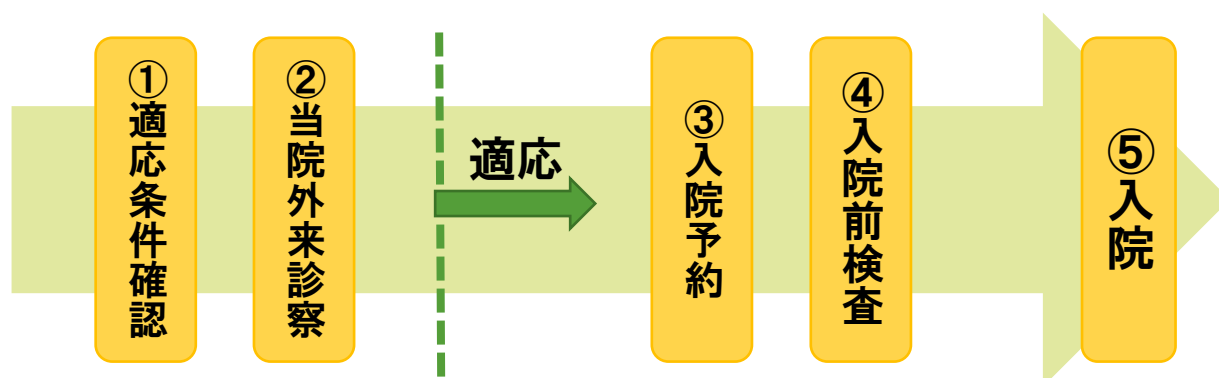


入院での促通反復療法（川平法）のご案内

1. 入院での促通反復療法（川平法）の対象の方

- ・ 脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などにより片麻痺がある方
- ・ 日常生活が概ね自立している方かつ短い距離でも歩ける方
- ・ 自分の意思で少しでも手足を動かせる方

2. 入院までの流れ



- ① 適応条件チェックシートで該当しているか確認していただきます。
- ② かかりつけ医より紹介状を作成していただき、
当院の脳神経内科の外来診察を受けていただきます。
- ③ 促通反復療法（川平法）の適応の場合、入院の予約をさせていただきます。
- ④ 入院前に外来にて入院前検査を受けていただきます。
- ⑤ 事前に予約した日に入院となります。

3. 入院期間中の一日の流れ

入院初日	午前：入院説明 午後：リハビリ評価
月～土曜日	リハビリ（促通反復療法と併用療法）、自主練習
日曜日	休み
退院日	退院（当日は午前退院予定）

- * 2週間もしくは4週間の入院となり、上肢・手指または体幹・下肢のどちらか一方になります。
- * リハビリは午前、午後ともに各40分前後の実施になります。
- * 併用療法とは物理療法（振動刺激、電気刺激）を用いた療法となります。

促通反復療法（川平法）についてご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

促通反復療法(川平法) 適応条件チェックシート

【適応項目】

- 脳卒中など、中枢神経系の障害が原因となり手、指、足の麻痺により思うように運動が行えない
- 肩・指・足等、麻痺側の関節を一部でも動かせることができる、
又は自分の意思で筋肉に少しでも力を入れることができる
- 肩か肘の曲げ伸ばしのどちらかがある程度可能
- 指の曲げ伸ばしのどちらかがある程度可能
- 足の曲げ伸ばしのどちらかがある程度可能で一人で歩ける
- 手、指、足を動かしたときに痛みがない
- 全身状態が良好である
(発熱、栄養障害、体力低下などが無い)
- 重度の合併症や心疾患がない
- 精神疾患を合併していない
- 認知機能に問題が無い(高次脳機能障害を含む)
目安として自主練習が安全に遂行できる
- 意思の疎通が可能。うなずきや一言レベルでも意思疎通がとれる

【確認項目】

- 脳血管リハビリに対して効果を認めていますが、個人差があることを理解している
- リハビリ以外の時間においても自主練習を行い、それらを継続することができる

適応項目、確認項目の内容について、十分理解しましたのでこれに同意します

_____年 _____月 _____日 本人自署: _____

代理人: _____ 続柄: _____